

年 度 評 価 シ ー ト

課名 商業労政課

施設の名称 南部勤労者福祉センター	指定管理者名 公益財団法人静岡市文化振興財団
1 履行状況	
(1) 目標達成 利用者満足度 目標値90%、実数値97.9%（前年度97.3%）、達成率108.8%（前年度比100.6%） (2) 施設利用状況 利用者数 令和7年度 26,592人（前年度25,945人）（前年度比102.5%） 【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値34,338人、▲23% (3) 人員配置状況 仕様書に基づき適切な人員配置がなされている。 専任職員 正規職員1名、パート6名 (4) 事業実施状況 静岡市勤労者福祉センター条例第18条の規定に基づき、条例第22条各号に掲げる南部勤労者福祉センターの管理について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。 ア パソコン講座 12コース、27講座、193回（386時間） ワード・エクセル入門等の講座を実施した。 イ フィットネス講座 10コース、30講座、298回（298時間） 多数の利用者からの要望を踏まえ、骨盤底筋を鍛えるストレッチ講座を新設した。また、駿河生涯学習センターで実施している人材育成講座の修了生を講師に迎えたコースを、前年度に引き続き実施した。健康文化交流館という複合施設の強みを活かし、広く健康増進に努めた。 ウ トレーニングインストラクター指導 152回（304時間） 毎週3回、担当インストラクターの専門性を活かして、ダンベルやバーベル等を用いた、効果的で特色ある指導を実施している。本指導を通じてベンチプレ	

ス大会に出場し、中には入賞する市民がいるなどの成果も見られる。

エ その他事業（広報事業除く）

63回

- ・パンチキックエクササイズ（50回）
- ・来・て・こ CDコンサート（6回）
- ・来・て・こトークシリーズ⑦ ちょっと待ってよ、メロスさん！
～朗読活劇「走れメロス」&トークセッション（1回）
- ・来・て・こトークシリーズ⑧ TVOD・川口好美・矢野利裕の
カルチャー放談 at 静岡 2025→2026（1回）
- ・短歌で考えよう。「はたらく」って何？（4回）
- ・来・て・こ祭（1回）

【検証・分析等】

来・て・こトークシリーズでは、小劇団による朗読劇とトークセッション、複数の批評家によるポップカルチャーや社会事象を題材としたトークセッションなど、独自性のある企画を実施している。馴染みのある文学作品や現代社会を捉える視点を提供し、参加者自らが考えるきっかけとなる講座を展開することで、好評を得た。

また、ポピュラー音楽に造詣のある市民を案内役に迎えた音楽鑑賞講座を実施するなど、地域人材の活用にも取り組んでいる。

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

意見等：更衣室内の椅子が長椅子から丸椅子に変わったが、バッグ等を置くことができない。元に戻すか、物を置きやすい椅子にして欲しい。

対 応：以前に、長椅子が更衣室内の動線を妨げているとの意見があったことを受け、丸椅子に変更した経緯があるが、上記意見を踏まえ、動線を妨げない一回り小さな長椅子を新たに設置した。

【検証・分析等】

苦情があった際には迅速に対応を行うとともに、その後、長期的な視点から改善の余地がないかを検討し、実行している。各利用者の要望が食い違った場合にも、調整を図りながら公正に対応している。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3

市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

利用者満足度調査

利用者満足度

職員の応対に「満足」「やや満足」等と回答した人数243人（回答者数248人、98.0%）

利用者の施設サービス満足度は高い。

【検証・分析等】

利用者の満足度は高い。

南部勤労者福祉センター単体の認知度や、勤労者福祉としての施設の認知度に関する調査は未実施となっている。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

4

指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

収入状況はコロナ禍に5割程度まで落ち込んだが、フィットネス利用者、貸館利用者とともに増加傾向にあり、それに伴い現在は8割程度まで回復している。対して支出は毎年度同水準となっている。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5

総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

管理運営は安定しており、講座の実施にあたっては毎年度内容の見直しが行われている。また、利用者からの意見に対しても、施設運営とのバランスを図りながら柔軟に取り入れており、満足度も高い。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。